

平成30年第2回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

3月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

3月29日、いわき市の復興公営住宅勿来酒井団地内において、町民の心身の健康維持及び町民同士の絆づくりや周辺地域とのコミュニティ形成促進を図ることを目的とした「双葉町サポートセンターひだまり」の開所式が行われました。

4月6日、双葉町立小・中学校合同入学式及びふたば幼稚園入園式を挙行いたしました。南小学校に5名、北小学校に3名、中学校に4名が入学、ふたば幼稚園に3歳児が3名、5歳児が1名入園いたしました。園児、児童、生徒数の合計は昨年度当初より6名多い52名となりました。

4月13日、復興公営住宅勿来酒井団地内に整備された双葉郡立勿来診療所の開所式が行われました。診療所は、避難されている方々の心のケアや医療提供を目的としたもので、診療科は内科と歯科で、毎週火曜日と木曜日に診療を行っております。

4月22日、双葉郡8町村の消防団員や婦人消防隊などが一堂に会する福島県消防協会双葉支部春季連合検閲式が、富岡町の富岡町民総合運動公園で行われました。双葉町からは石井消防団長をはじめ24名の消防団員が参加し、防火・防災への誓いを新たにしました。

5月9日、避難指示解除準備区域の水田再生活用拠点及び次世代園芸チャレンジ拠点内の農地の保全管理を行う、双葉町農地保全管理組合が設立され、双葉町の農業再生への大きな一歩を踏み出しました。

5月26日、町立学校仮設校舎体育館で学校再開以来4回目の幼稚園、小学校合同運動会を開催いたしました。今年は、昨年より園児、児童数が5名多い40名での運動会となり、先生、保護者も参加し、笑顔と歓喜にあふれた運動会となりました。

町の復興に向けた取り組みではありますが、昨年から工事を進めてきた双葉町寺内前霊園については、5月に全ての整備を終え、6月1日から使用区画の申込み受付を開始いたしました。申込み期間は6月29日までの約1カ月間で、希望

された使用区画が競合した場合は、抽選となります。その後は申し込み順により決定することとしております。使用区画の状況は、随時、町公式ホームページ等により町民の皆さまにお知らせしてまいります。

次に、駅西地区生活拠点等の整備についてですが、3月28日、第5回双葉町復興整備協議会を開催し、双葉駅西側地区生活拠点等整備事業に係る都市計画と農地転用を決定しました。現在、事業認可と用地取得等に向けた準備を進めているところであり、JR東日本水戸支社との施行協定に基づいた双葉駅東西自由通路及び橋上駅舎の整備とともに、駅西側地区を中心とする復興拠点の整備に取り組んでまいります。

また、中野地区復興産業拠点への企業誘致については、3月下旬から立地を希望している町内事業者や企業との詳細協議を進めており、平成30年度における一部供用開始に向け全力で取り組んでいるところです。

復興まちづくり計画（第二次）を具現化するための取り組みについては、職員による検討組織として本年度も復興まちづくり計画推進会議幹事会ワーキンググループを設置し、検討テーマとして町内における住宅整備、官民複合施設、生活交通の在り方のほか、避難指示解除に関する諸条件とスケジュール整理について議論を開始しました。ここでの提言、提案等を幹事会や管理職で組織する計画推進会議で整理を行い、議会の皆さまや今後設置予定の復興町民委員会などからの意見を踏まえ、実施計画等に反映させていく考えであります。

最後に、本定例会に提案いたしました案件について申し上げます。報告が3件、条例の制定が2件、委員の任命に関する同意が1件、委員の任命が8件、条例の一部改正が2件、補正予算(案)が1件、諮問が1件、合わせて18件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。行政報告といたします。